

学校教育目標（具体目標）

- ・健康でたくましい子
- ・豊かな心、思いやりのある子
- ・よく考え、学び合う子



柏っこ

令和4年度  
第5号

学校だより

令和4年8月29日  
海老名市立柏ヶ谷小学校  
校長 麻生 仁  
電話 046-231-1630

## 地域の方からの手紙

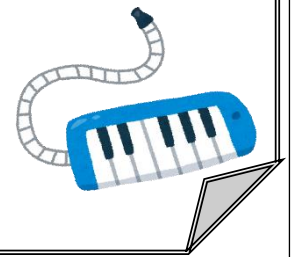
1学期末のある日、地域に住む方から、学校へ手紙（FAX）が届きました。とても嬉しい内容だったので、終業式の「校長の話」において、紹介しました。以下、その時に話した内容です。（もとの手紙から一部を要約し、児童にもわかりやすい言葉に直しています）



ある日、その方は、かしわ台駅の前で、大雨の中、下校している柏ヶ谷小学校の中学年くらいの女の子ふたりと低学年の男の子ひとりを見かけました。

すると、中学年くらいの女の子が、低学年の男の子のピアノ（鍵盤ハーモニカ）を持ってあげていたそうです。その女の子もたくさんの荷物を持っていて、大雨の中、傘もさしていたので、とても大変なはずなのに、低学年の男の子の荷物を持ってあげるなんて、なんて優しい子なのだろうと、感動したということです。

その方は、児童のみなさんをたくさんほめてほしいとのことでしたので、今日、全校児童にこの話を紹介しました。



さらに手紙の後半は、次のように書かれていました。

『人間の<sup>とっさ</sup>の行動は、普段から訓練していなければ出来得ないことが多いです。きっと普段から周りを見て手を差し伸べるやさしい子なのだろうと感心いたしました。日頃の先生方の教育、親御様の教育は、こうして地域の者にしっかりと伝わっております。（中略）私も地域の一員として、未来の宝物である子どもたちを見守っていくようこれからも努めます。』

暗いニュースが多い中、なんとも心があたたかく、晴れやかになるうれしいお手紙でした。地域の皆様には、引き続きこのようにあたたかな眼差しで児童たちを見守っていただければ幸いです。

「人として生きる力」「人間としての強さ」の根本は、「やさしさ」や「おもいやり」なのではないかと、いつも思っています。

心豊かで、たくましく、やさしい子どもたちを育てる、地域から応援される学校でありたいと強く思うのです。



# 「かしわっ子ファーム」プロジェクト 進行中！

学校だより第3号でお伝えした、「かしわっ子ファーム」プロジェクトですが、順調に進んでおります。

夏野菜のナス、キュウリ、枝豆。ミニトマトなど、毎日、楽しそうに収穫して、嬉しそうに持ち帰る児童たちの姿を多く見ました。ある日、枝豆を数房、手に握りしめ、自慢げに私に報告にくる2年生男児がいました。

「立派な枝豆だね～。ビールのおつまみにしたら最高だろうな～。」

と、私が話すと、そのうちの1房を私に手渡してくれました。

「そんなに数はないし、申し訳ないからいいよ。おうちの人も楽しみにしてるでしょう？」

と遠慮したのですが、「大丈夫。校長先生にあげる！！」

と言ってくれたので、ありがたく頂戴しました。帰宅後、少し硬めに茹でて、試食させていただきました。1房に3粒入った、生産者の顔が見える新鮮な枝豆。その日の暑さのせいもあつたかもしれませんが、ビール1缶を空けるに十分な美味しいおつまみとなりました。貴重な収穫物をお裾分けしてくれる児童たちに感謝します！



【2年生:大きなキュウリを収穫!】



【2年生:大粒の枝豆】



【3年生:藁を敷いてスイカの苗を植える】



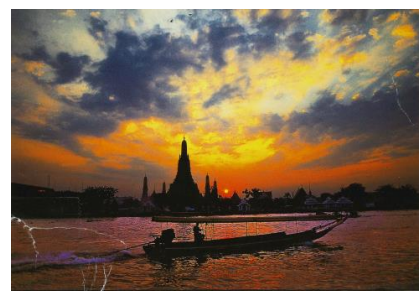
【5年生:ミニ田んぼ】

夏休み中も5年職員を中心に交代で水の管理をしました。

## バンコクからの手紙

昨年度まで4年間、本校に勤務されていた、細木友菜先生は、今年度よりタイのバンコク日本人学校に異動されました。先日、絵はがきが届きました。内容を一部紹介します。

『こちらは学年職員17名。1年生だけで309名という大規模校です。欠席児童がいると、ハイブリット授業をしたり、保護者とリモートで連絡をしたりと、日本とは全然違うことが多くあります。日々、その違いに驚きながらも、それを楽しんでいます!』



【美しいバンコクの夕日】  
(絵はがきより)

細木先生のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。